

## 1 社会・治安情勢

当国では在留邦人が多数居住するルサカ市を取り囲むようにコンパウンド（貧困層地区）が存在し、儀式殺人事件などの凶悪犯罪が発生しやすい傾向にある。貧困率は依然として高く、特に首都ルサカ市、リビングストーン市観光地区、コッパーベルト州の主要都市等を中心に失業者やエイズ孤児等が溢れており、貧困に起因する犯罪が後を絶たない。

また昨年10月以降、ザンビアではコレラが流行しており、3月末までに総報告症例数は4,983例（うち死亡者数96例）が報告されている。コレラの流行に伴い政府は夜間外出禁止令や飲食店やスーパーマーケットの一時封鎖の指示を行った。（現在は解除済み。）これにより営業停止を受けたマーケット関係者などが抗議デモを行う事案が発生した。

## 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）在留邦人が多数居住し比較的安全とされているルサカ市においても銃器を使用した複数犯による住居侵入強盗、車両強盗、路上強盗が断続的に発生しており、特に、夕方から深夜にかけての犯行が多い傾向である。日中であっても人の集まる所では、スリや置き引きなどが発生しており、最近では偽札を使用した犯罪も増加している。

### （2）邦人被害事案

3月1日、在留邦人がルサカ市内の駐車場に駐車中のところ、車両の窓ガラスを割られ、貴重品が入ったバックと携帯電話を盗まれるという事案が発生している。在留邦人に怪我はない。

### （3）邦人以外の被害事案

ア 1月12日、ルサカ市カムワラ地区及びローマ地区で13時及び15時頃住居侵入による強盗事件が発生した。被害額はそれぞれ現金4,600クワチャ（約46,000円）と88,000クワチャ（約880,000円）相当が盗まれた。被害者は殴打され顔面や頭部を負傷した。

イ 2月13日、ルサカ市のタウン地区で男性を襲撃し、拉致して金品を強奪する事件が発生した。現金2,760クワチャ（約27,600円）相当が盗まれたが怪我等はなくその後解放された。

ウ 2月20日、ルサカ市内のショウグラウンドにおいて銃器を使用した強盗により、乗用車が襲撃され、金銭を強奪された。現金4,730クワチャ（約47,300円）相当が盗まれた。

エ 2月24日、ルサカ市内のジョージコンパウンドで儀式殺人とみられる事件が発生した。殺害された男性は身体の数カ所が取り除かれた状態で発見された。

オ 3月1日、ルサカ市のタウン地区の駐車場において複数の銃器を保持した集団により襲撃される事件が発生した。現金 40,000 クワチャ（約 400,000 円）相当が盗まれた。

3 テロ・爆弾事件発生状況  
当該事件の発生は認知していない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況  
当該事件の発生は認知していない。

5 日本企業の安全に関する諸問題  
関連情報なし